

陳情第 7 号

合併処理浄化槽の普及拡大を図るため公共浄化槽として取り扱うことについて

陳情者 江別ホテルの会
会長 西脇 昭夫

陳情内容 別紙のとおり

上記陳情書の提出があったので付議する。

令和8年9月1日提出

江別市議会議長 野村 尚志

令和8年8月17日

江別市議会議員 野村 尚志 様

江別ホタルの会
会長 西脇 昭夫



陳 情 書

合併処理浄化槽の普及拡大を図るため公共浄化槽として
取り扱うことについて

郊外農村地域のホタルなどの水棲生物が激減しています。原因としては、未処理の生活污水が水路や側溝を通じ河川へ流出しています。また市民の飲み水にもなっています。

このことを解消するために、普及率 40 パーセント台と低い農村地域の合併処理浄化槽を、市が設置し維持管理する公共浄化槽として取り扱うことを求めます。

(趣旨) 農村地域の合併処理浄化槽を公共浄化槽として位置づけ、設置から維持管理までを市が担い、利用者には煩わしい手間をかけさせず、公共下水道並みの建設分担金と月額使用料の負担に留め、環境を守る負担は市街地、農村を問わず公平にすべきではないでしょうか。なお、既存の浄化槽は市へ寄付してもらうこととします。

(理由) 合併処理浄化槽の設置及び維持管理費用が、公共下水道と比較して負担が大きく、令和3年度の住民アンケート調査でも負担軽減の声が複数ありました。対策として、公共浄化槽として取り扱うことで、合併処理浄化槽の普及が促進され、農村地域の自然環境及び住環境が大幅に改善され、安心安全な農産物の提供が確約され则认为ます。